

この学校にわたしたち

2022. 11. 14

N045

学ぶことは楽しい！

1日1回は校長室を出て教室を回り、各学年の授業や黒板に書かれた内容、教師や児童の表情などを見て回っています。教師にとって1回1回の授業は真剣勝負であり“子どもと教師の魂のぶつかり合い”であると私は思っています。私は担任をしていた頃、子どもが分からなかったことが分かった時の「あ、そうか～」「わかった～」という声やピカッと輝く目（表情）を見るのが大好きでした。学ぶことは楽しい。“知”の発見は喜びであり、その喜びは成長につながります。人との比較ではなく、自分なりに成長していくことができるのです。私は9月と10月に職員1名ずつとともに大紀町錦小学校という学校の授業を視察してきました。1・2年、3・4年、5・6年がそれぞれ複式学級となっており、2学年を1名の教師が授業をするというものでした。その学校の子どもたちは学ぶ意欲にあふれていて目も輝いていました。残念ながら本校の全国学力・学習状況調査の児童質問紙の回答でどの教科も学習の目的に対する項目が著しく低い結果となりました。“1日1つ“とは言いませんがたった1回でも”すごい“と感じたり、”そういうことか…“と感動を覚えた子どもは学ぶ意欲が高まっていくでしょう。「学ぶ」ことで自分の「世界」を広げることができます。私は教師とか校長だからではなく、1人の大人として今後も学び続けていきたいと思えます。正直、教頭時代の数年間、なかなか時間が取れず、「本もゆっくり読めない」と決めつけて学ぼうとしていなかった時期がありました。

しかし、自分が学級の子どもたちに「5分でもいい、1行でもいい。毎日、読書や日記に挑戦しよう」と言っていたことを思い出し、昨年からは5分あったら本を読もう、新聞を開こう、テレビやスマホでニュースを見よう決めました。「忙」という文字は「心（りっしんべん）が亡（なくなる）」と書きます。どんなに「多忙」でもその「多忙」の中でも人との出会いから学ぶこともできます。「多忙」を「学び」に変えていきながら、今後も職員や子どもたちとともに成長をし続けていきたいと思えます。

久居アルスプラザによるアウトリーチ事業（支援事業）

～音楽鑑賞会

今回、久居アルスプラザさんの事業を活用し、子どもたちに実演芸術に触れる音楽鑑賞会を開催しました。「芸術」とは難しいと構えがちになるものですが、芸術は疲れている心を励ましたり、ぎゅっと凝り固まった心をとほぐし、解放させてくれるものです。今回、東京・群馬などで活躍されている音楽家の方をお迎えし、生の演奏や楽器体験など普段、できない貴重な経験をさせていただきました。参加していただきました保護者・学校関係者の皆様、有難うございました。